

ムスリムフレンドリーのアプリ ～八王子市にいるムスリム～

Developing Muslim Friendly Application for Muslim Residents and Tourists in Hachioji

ムスリム・フレンズ

ファイサル¹⁾, イリ一¹⁾, ナディラ¹⁾, アイシャ¹⁾, 余錦麟¹⁾
指導教員 永見豊¹⁾

1) 拓殖大学 工学部 デザイン学科 シビックデザイン研究室

現在、訪日するムスリム（イスラム教徒）がどんどん増加している。しかし、彼らの旅行先は都心が多く、八王子市にあまり来てくれない。ムスリム達は日本に来たら、もちろんハラル食品しか食べれないため、食べ物にはいつも困っている。そこで、八王子市にハラル食品で料理をつくるレストランやハラル食品を扱うスーパーを増やし、それを紹介するアプリを作れば、ムスリム達を手伝う同時に、八王子市に来るムスリム人数が多くなるようになると考えられる。

キーワード：ムスリムフレンドリー、アプリ、ハラル、ツーリスト

1. THEME INTRODUCTION

訪日するムスリムがどんどん増加している。東南アジアからの訪日旅行者は着実に増加しており、2013年には過去最高を記録した（図1）。ムスリムは日本の環境に興味があり、きれいで楽しい観光地に行く。日本の文化も体験したいからである。

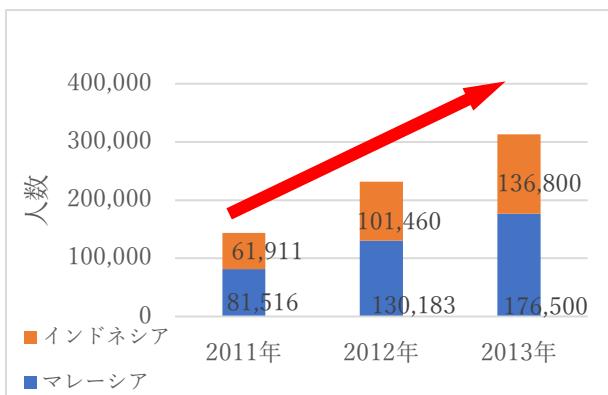


図1 インドネシア・マレーシアの訪日ムスリム観光客

2. CURRENT CONDITION ANALYSIS

A. 八王子市にあまり知らない楽しい観光地

八王子といえば、あまり観光客に知られておらず、渋谷や秋葉原や池袋のように都心にある有名な観光地には同じレベルの観光地ではない。しかし、実は八王子市にたくさんの面白い観光地がある。例えば、高尾山やMitsui Outlet Parkや八王子市にある様々なミュージアムであり、高尾599ミュージアム、高尾山トリックアート美術館、八王子

市郷土資料館、八王子市夢美術館である。以上から、八王子市は有名な観光地になるポテンシャルがあることが言える。

B. 八王子に住んでいるムスリムに対する調査

ムスリムの観光客が八王子市に対する見方をもっとわかるために、八王子市に住んでいるムスリムの学生10人にインタビューした。

質問は①日本特に八王子の生活はどうですか？②何か困ったことがありますか？③何があつたらいいなと思いますか？の3つである。

その結果、八王子に住むのが好きで、楽しい生活をしているが、いくつかの共通な問題に困っていることが分かった。その問題は①ハラルレストランはどこにあるかわからなくて、知っているハラルレストランが少なすぎる、②ハラル食品はどこに売ってあるかわからない、③お祈りする所が少ない、④日本は、昼夜が日々いつも変っているので、お祈りの時間がいつも勘違いすることなどであった。

3. IDEA PLANNING

私たちは、八王子市にいるムスリムの生活が楽しく便利にするために、Muslim In Hachiojiというムスリムフレンドリーのアプリを制作を提案する。このアプリの主なターゲットユーザーは旅行者や八王子市に住んでいるムスリムである。技術的には、このアプリがスマホで、AndroidとIOSで両方ともアクセスできる。ムスリムが異なる国から八王子市に来るのを考えると、アプリの言語が

数々なチョイスがある。例えば、日本語や英語やマレー語やインドネシア語などである。

基本的に、このアプリができる機能が4つある。まず、マップの機能では、調べられるものが4つある。それは、八王子市にあるハラルレストラン、ハラル食品を売っているスーパー、お祈り部屋またはモスクである。図2には、この機能の画面イメージを示す。そして、お祈り時間割とキブラをムスリムが毎日やっている5回のお祈り情報とする機能もある。お祈りをするとき、必ずメッカに方角を向いて行う必要がある(図3)。また、八王子市にあるあまり知らない面白い観光地を調べられる機能もある。最後に、図4のように、ハラルとかムスリムフレンドリーのホテルをムスリムに関する基本情報とする説明もあると考えられる。

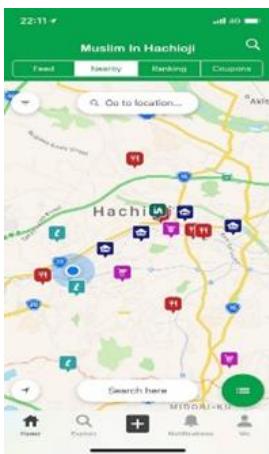


図2 マップ機能の画面

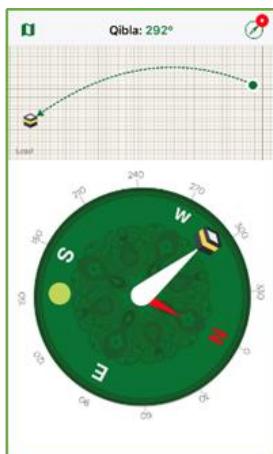


図3 キブラ機能の画面

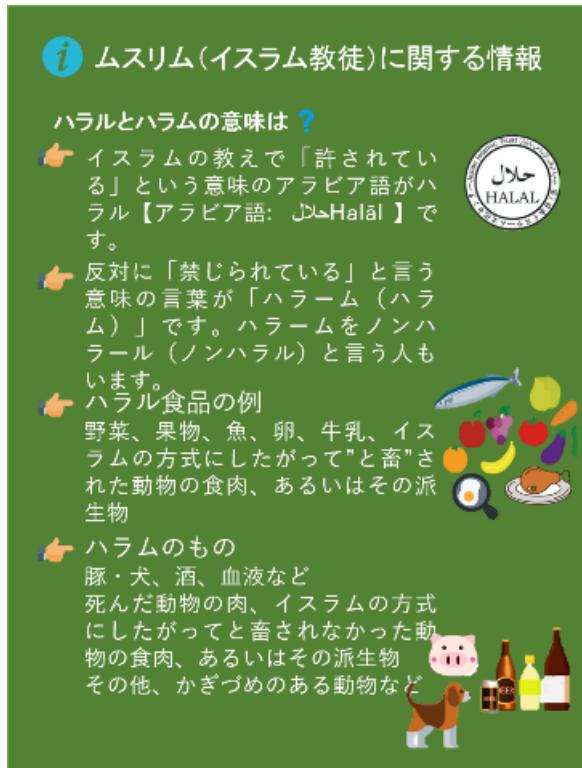


図4 情報の説明機能の画面

4. HOW IT WORKS?

図5のように、GIVE AND TAKEというコンセプトによって、このアプリの開発では、ムスリムが八王子市のムスリムフレンドリーに関する便利さと面白さを知るようになり、八王子にどんどん来てくれる。次に、ホテルやレストランの人がムスリムフレンドリーのコンセプトを自分たちのところで応用したい数が高くなる。それで、ムスリムフレンドリーのコンセプトを応用されたレストランなどが多くなって、最初の状況に繰り回すようになる。基本的に、ムスリムがこの便利なアプリからサービスをもらって、待遇として、八王子の人々がお金をもらって、経済やツーリズムも高めると考える。

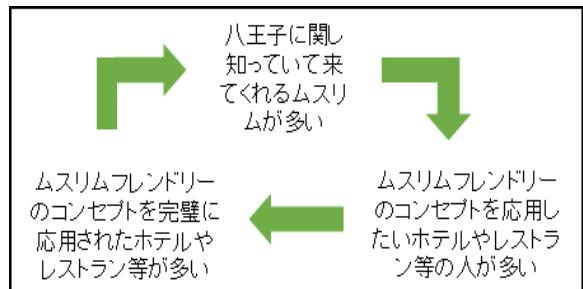


図5 GIVE AND TAKE コンセプトの流れ

5. FUTURE TASKS

このアプリを完成させるために、いくつかのものをデザインするはずである。まず、このアプリの流れをよく考えてデザインしなければならない。そのうえ、このアプリのアイコンをデザインし、このアプリのインターフェースをデザインする。これらの点で、完成なアプリが出来上がるようになる。

6. PROPOSAL FOR CYBER SILKROAD HACHIOJI

CYBER SILKROAD HACHIOJIへの提案としては、レストランやスーパーのマネジメントにこのアプリを紹介してあげて、レストランやスーパーよりハラル食品を扱うようにしてもらうことである。それにより、このアプリの使用が広がり、その紹介させたレストランやスーパーはたくさんのお客様が来もらうと考えられる。また、八王子が大好きなムスリムが多くなることを私たちは期待する。

REFERENCES

- 1) <https://www.jmca.jp/column/detail/3877>
- 2) <http://www.takao599museum.jp/hachioji>
- 3) <https://www.cyber-silkroad.jp/co-hachioji/>